



県中学校体育連盟功労者賞を受賞して

熊本市立清水中学校 教諭 黒川 富博

この度、栄誉ある熊本県中体連功労者賞を賜り、多くの生徒・教職員・保護者や地域の方々、諸先輩、同僚、体育関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

私は、昭和59年春に日本体育大学を卒業し、熊本市立北部中学校に赴任して以降、北部中学校に3年、昭和62年から南小国町立南小国中学校に4年、平成3年から熊本市立京陵中学校に8年、平成11年から熊本市立清水中学校に5年、平成16年から熊本市立西山中学校に2年、平成18年から熊本市立西原中学校に6年、そして平成24年熊本市立清水中学校に9年間、計37年間保健体育の教師として長い教員生活を送ってきました。当時は、どの学校でも問題を抱えた生徒もおり、生徒指導面で日々格闘してきたが、私自身が恩師から学んできた「人として大切な心構え」や「全ての生徒を最後まで見放さない」という思いで指導を行ってまいりました。

初めは若くて何も分からなかった私でしたが、当時の先生方や保護者、生徒の皆様に恵まれ、教師としての在り方を学ばせていただきながら、楽しく充実した日々を過ごすことができました。そこでは、高校の恩師や諸先輩方に言われた「授業を大切に」「人を大切に」という言葉を胸に、授業づくりに励んできました。長い教員人生なので、当然、時代の流れを感じることもありましたが、人として大切な心構えを忘れないよう、常に初心に戻りながら日々の指導に邁進してまいりました。

平成18年から勤務した熊本市立西原中学校では、武道の必修化に伴い、剣道の授業において、オリジナルの竹刀を使い、相手の動きに応じて体捌きや竹刀の動かし方などを考えなければならない剣道の形の授業を行い、熊本市内の多くの先生方と共に授業について学ぶことができました。

また、それと同時に部活動においても剣道の指導に携わらせていただき、諸先輩方に指導のノウハウをご指導いただきながら、剣道の理念でもある「人間形成の道」を生徒と共に目指しながら、共に汗を流してきました。特に、平成3年から赴任した熊本市立京陵中学校では、剣道競技女子団体において中体連九州大会3連覇、そして全国中体連優勝1回、平成11年に赴任した熊本市立清水中学校では、再び女子団体において九州中体連3連覇、個人戦において全国大会ベスト8、平成16年に赴任した西山中学校では、2年間で男女共に県大会や九州大会の上位入賞を果たすなど、生徒や保護者の皆様と数々の感動を味わうことができました。その際の教え子や保護者の皆様とは現在でも交流を持たせていただいております。

最後になりましたが、県中体研、県中体連の益々のご発展と会員の先生方のご健勝とご活躍を祈念するとともに、長年にわたりご指導いただいた多くの先生方に心より感謝申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。